

ワクチン 接種

ワクチン届かず、「困惑している」

「7月末までに、65才以上の希望する高齢者への2回接種を完了させる」
菅首相の号令で市町村は混乱。そして今度は、そのワクチンが計画通り届かない…政府の失政が極まっています。

接種率に大幅な遅れ

6月27日時点、千葉県の接種率（65才以上の高齢者）は、1回目56.28%、2回目21.03%（全国平均（26日時点）1回目55.63%、2回目21.78%）に対し、流山市内の接種率（6/15時点）は1回目30.03%、2回目3.72%にとどまっています。

日本共産党小田桐たかし市議は、「安全で迅速な接種」の加速化に向けた取り組みとして、①7月末で打ち切られる医療従事者への支援継続、②ワクチン接種における単価改定、③7月末で閉鎖予定の千葉県大規模接種センター（松戸市・千葉市蘇我）の開設継続、④市職員及び公共サービス従事者（障がい者福祉、学童保育、公共施設窓口、ゴミ収集など）保育士は優先接種を実施中）への計画的接種、⑤夏休みを活用した教職員への計画的接種、⑥商工会議所・農家組合等への接種枠確保等、国・県への要請と市独自の対策を求めました。

市長は、ワクチン接種単価が安いこと等を認め、必要に応じ、国・県への要請を行うとしました。

システムに課題

ワクチン製造会社は変更

政府がワクチン接種のために導入した「VSR」システムにも課題が浮上。入力が複雑なうえ、入力が遅れるとワクチンが届きづらい事態が全国で発生。製造会社が異なるワクチン配荷など、流山市でも「困惑」が広がっています。

今議会、ワクチン接種への不安を
持たれる方から陳情書が議会へ提出
されました。

不安を持つことは当然です。効果
と副反応の徹底した開示はもとより、
「任意」接種であることから職場等
での接種強要、接種できない方や接
種を希望されない方への差別等も禁
止されています。ご協力・ご配慮を
切に願います。

一方、ワクチンを保存する冷凍庫
の電源を抜く「#プラグを抜こう」

等、希望する方の接種を妨害したり、
日本産科婦人科学会（裏面）や日本
小児科学会予防接種・感染症対策委
員会等の提言を正しく伝えず、ワク
チン「劇薬」と、恐怖だけをあお
る例もあるとのことですが、
新型コロナウイルスに加え、政治の失政：
寛容さを失い、分断された人の心を、
緩やかにつなげ、互いに尊重できる
社会の実現も問いかけられているの
ではないでしょうか。



流山市議会議員

小田桐たかし

日本産婦人科学会等の最新の提言です。また、同学会では、今年1月27日、5月12日に『COVID-19 ワクチン接種を考慮する妊婦さんならびに妊娠を希望する方へ』と提言を重ねております。時系列でぜひともお読みください。また、『新型コロナワクチン～子どもならびに子どもに接する成人への接種に対する考え方～について』（日本小児科学会）もご参照ください。

なお、市議会に提出された提出された討論は、「日本共産党流山市議団」のHPに掲載しています。

令和3年6月17日

妊産婦のみなさまへ

日本産科婦人科学会 木村 正 ・ 日本産婦人科医会 木下勝之 ・ 日本産婦人科感染症学会 山田秀人

—新型コロナウイルス（メッセンジャーRNA）ワクチンについて—

新型コロナウイルス（メッセンジャーRNA）ワクチンは、これまで医療従事者や高齢者を中心に接種が行われてきましたが、今後は基礎疾患を持つ方、それ以外の方へと順次拡大されます。

皆さまが最も関心のある「妊婦さんへの接種」については、すでに多くの接種経験のある海外の妊婦に対するワクチン接種に関する情報では、妊娠初期を含め妊婦さんとおなかの赤ちゃん双方を守るとされています。また、お母さんや赤ちゃんに何らかの重篤な合併症が発生したとする報告もありません。したがって日本においても、希望する妊婦さんはワクチンを接種することができます。妊婦健診は普段通り受けていただき、産婦人科施設以外で接種を受ける場合は、その前にかかりつけ医にワクチン接種の適否に関してご相談ください。

- ◆妊娠中に新型コロナウイルスに感染すると、特に後期の感染ではわずかですが重症化しやすいとされています。
- ◆一般に、このワクチンを接種することのメリットが、デメリットを上回ると考えられていますので、特に感染の多い地域や感染のリスクの高い医療従事者等や、糖尿病、高血圧、気管支喘息などの基礎疾患を合併している方は、ぜひ接種をご検討ください。
- ◆副反応に関し、妊婦さんと一般の人に差はありませんが、発熱した場合には早めに解熱剤を服用するようにしてください。アセトアミノフェンは内服していただいて問題ありませんので頭痛がある場合も内服してください。
- ◆新型コロナワクチン接種の予診票には、「現在妊娠している可能性はありますか。または授乳中ですか。」という質問がありますので、「はい」にチェックし、あらかじめ健診先の医師に接種の相談をしておきましょう。接種してよいと言われていれば、その旨を接種会場の問診医に伝えて、接種を受けてください。
- ◆妊娠中の方は、里帰り先など住民票と異なる居住地で接種を受ける場合でも「住所地外接種届」の提出は不要です（「基礎疾患を持つ者が主治医の下で接種する場合」に準じた対応が可能です）。
- ◆予定された2回のワクチンを接種しても、これまでと同様に感染予防策（適切なマスク使用、手洗い、人混みを避けるなど）は続けてください。